

令和8年4月23日

# 厚生常任委員会報告資料

福祉子どもみらい局

1 地方独立行政法人神奈川県立福祉機構の設立について…………… 1

## 1 地方独立行政法人神奈川県立福祉機構の設立について

令和8年4月1日に地方独立行政法人神奈川県立福祉機構（以下「法人」という。）を設立し、中井やまゆり園を法人による運営に移行したため、報告する。

### (1) 法人の概要

#### ア 名称

地方独立行政法人神奈川県立福祉機構

#### イ 所在地

足柄上郡中井町境218

#### ウ 目的

「神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例～ともに生きる社会を目指して～」の基本理念に基づき、障害者の地域生活を支援するとともに、科学的な福祉を研究及び実践し、そのために必要な人材を育成する拠点となり、福祉に関する諸課題の解決に広く貢献することにより、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域共生社会を実現する。

#### エ 業務の範囲

- (ア) 障害者の地域生活の支援及び障害者支援施設等の運営を行うこと。
- (イ) 科学的な福祉の研究及び実践、人材育成を行うこと。
- (ウ) 地域共生社会に関する普及啓発を行うこと。
- (エ) 前3号に掲げる業務に基づき、福祉に関する諸課題に対する取組を行うこと。
- (オ) 前各号に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。

#### オ 運営する施設

神奈川県立中井やまゆり園（障害者支援施設）

#### カ 設立日

令和8年4月1日（令和8年3月25日総務大臣認可）

#### キ ホームページ

<https://kanawel.jp>

## (2) 組織体制

### ア 役職員数

- 役員 8人（外部理事及び監事を含む）  
法人採用職員 115人（福祉職100人、事務職9人、看護師4人、  
栄養士1人、運転員1人 ※非常勤職員を除く）  
県職員 78人（福祉職59人、事務職18人、看護師1人）  
（※県職員78人には、2か月間業務引継ぎを行う福祉職25人を含む）

### イ 組織

別紙のとおり

### ウ 役員及び幹部職員（令和8年4月1日任命）

#### (ア) 役員

役職名	氏名	備考
理事長	橋本 和也	前神奈川県副知事
副理事長	熊谷 晋一郎	東京大学先端科学技術研究センター教授
副理事長	川名 勝義	前神奈川県福祉子どもみらい局長
理事	綾屋 紗月	東京大学先端科学技術研究センター教授
理事	出縄 守英	神奈川県知的障害福祉協会会長、 社会福祉法人進和学園理事長
理事	二俣 泉	昭和音楽大学音楽学部教授
監事	佐藤 彰一	國學院大學名誉教授、PAC法律事務所代表
監事	澁谷 耕一	神奈川県政策顧問、 リッキービジネスソリューション株式会社代表取締役

#### (イ) 幹部職員

役職名	氏名	備考
研究センター長 兼人材育成センター長	向井 義	株式会社薫化舎代表取締役会長
中井やまゆり園統括園長	高橋 朋生	神奈川県からの派遣職員
中井やまゆり園長	佐々木 崇	神奈川県からの派遣職員
経営企画室長	根本 崇	神奈川県からの派遣職員
経営企画室 企画調整担当課長	嶋田 慶一	法人採用職員
チーフ・プロジェクト・ オフィサー	大川 貴志	法人採用職員

### (3) 職員研修の状況

#### ア 導入研修

法人採用職員に対して、4月1日から4日間かけて、当事者目線の障害者福祉の実践のために、法人が目指す方針や体現すべき職員の規範について講話及び講義、交流を通じて理解を深めた。

(主な研修内容)

- ・ 理念研修（法人理念を実現するための心構え）として、当事者研究や障害福祉の歴史、倫理綱領について学んだ。
- ・ 利用者とその家族との関係性構築のため、利用者と交流体験と家族との交流会を実施した。
- ・ 基礎的な支援技術の習得として、記録の書き方、救命救急（BLS）、健康管理等について学んだ。

#### イ 現場実践研修

理念研修を繰り返し行うことにより法人理念の定着を図る。また、現場勤務の中で活用できる支援技術に関する実践研修を積み重ねることで、導入研修における学びを深化させていく。

(主な研修内容)

- ・ 利用者の支援記録を読み、生活史を作成・共有する。
- ・ 基礎的な介護技術の研修を繰り返し行い、徹底的に技術を身に付ける。

### (4) 中井やまゆり園利用者・家族との交流等の状況

- 4月1日 中井やまゆり園利用者への宣誓書交付  
中井やまゆり園利用者、家族及び職員の交流会
- 3日 お花見
- 4日 家族参加デー
- 18日 家族会

地方独立行政法人神奈川県立福祉機構 組織図

